

「下流老人」の問題提起と福祉実践現場

藤田孝典さん

(聖学院大学人間福祉学部客員准教授/NPO 法人ほっとプラス代表理事)

NPO法人ほっとプラスの活動

生活相談

ホームレス状態にある方や生活に不安のある方から相談を受け、ソーシャルワーカーと一緒に問題の解決を目指します。

日常生活支援

金銭管理や服薬管理など日常生活に不安がある方も地域で暮らしていけるよう、生活のお手伝いをしています。また食事提供・交流会などの居場所作りも行っています。

住まいの提供

住居のない方に私たちが管理するシェルターやシェアハウスの提供を行っています。また、障害を抱えた方にはグループホームを提供しています。

ソーシャルアクション

~~~~~  
貧困問題の現状を社会に訴えるために、講演会や大学での講義、メディア出演、著書の出版、SNSを通じて社会発信を行っています。

2004年より  
NPO活動を開始



始

河川敷に暮らすことを余儀なくされる人たち



人権や社会正義が実現されていない社会

今も社会権が脅かされる人々  
エンパワメント、抑圧からの解放



今も仲良しの師匠や魅了される人々  
おっちゃんから学んだ実践知の数々  
「支援はいらねえ」



社会資源開発 シャルター、グループホーム



## 日本の貧困の現状

—社会変革の必要性—

### ●日本の貧困率(相対的貧困率)

**15.6%** → OECD加盟国(34か国)中  
6番目に高い数値

※2015年・厚労省発表(2017)

所得にすると…

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ・1人世帯 122万円 | ・2人世帯 170万円 |
| ・3人世帯 211万円 | ・4人世帯 245万円 |

未満が貧困ライン

## ひとり親世帯の深刻さ

- ・日本で深刻なのは、母子家庭など「ひとり親世帯」の子ども。
- ・相対的貧困率は50.8%
- ・母子世帯に限ると、82.7%が「大変苦しい」「やや苦しい」と回答。

→ひとり親世帯**2人に1人の子は貧困**。

## 日本の高齢者の貧困—調査・研究—

- 高齢者(65歳以上)の貧困率

**19.4%** → 高齢者の5人に1人は貧困

OECD加盟国(34か国)中、4番目に高い数値 ※ 2015年・OECD発表

さらに 単身高齢男性は**38.3%** が貧困  
単身高齢女性は**52.3%**

※内閣府「平成22年版男女共同参画白書」より

➔ 高齢期は誰もが貧困に陥る可能性

## ミクロ実践で出会う当事者

- 家族や友人がおらず、年中部屋に引きこもったまま  
テレビを見て過ごしている



- 収入が少なく、インスタント食品や見切り品の惣菜で飢えをしのぐなど  
3食まともに取れない



## ミクロ実践で出会う当事者

- 家賃が払えず、簡易宿泊所やネットカフェ、近所の公園などで漂流生活をしている
- 病気があるにも関わらず 医療費が払えないため、通院や入院治療を拒否し、痛みに苦しみながら自宅療養をしている



## 「下流老人」出版一言説戦略一

- 下流老人とは…  
生活保護基準相当で暮らす高齢者  
およびその恐れがある高齢者

例：さいたま市の場合、12万7000円程度  
(単身高齢者で、生活扶助＋住宅扶助の合計額)

➡ 現在、下流老人は約700万～1100万人

ソーシャルワーク理論と実践 ソーシャルワーカー集団の形成



ソーシャルアクションに関心がある他領域の学生と院生  
そして…勉強会やフィールドワーク



## 動くと変わる政治や法律・条例

- 条件付き高等教育給付型奨学金導入(2017)
- 生活困窮者自立支援法(厚労省・2015)
- 「下流老人」と高齢者臨時特例給付金(2015)
- 貧困ビジネス規制条例(埼玉県・2013)
- 社会保障審議会特別部会設置(厚労省2012)
- 生活保護法母子加算復活(厚労省・2009)
- 反貧困ネットワーク埼玉の組織化(2008)
- 貸金業法改正(金融庁・2006)など